コミュニティ活動助成

一般社団法人 シモキタ園藝部

東京都世田谷区

下北線路街の「植育」を通した地域の風景づくりとコミュニティの醸成

コンポスト置き場に集めた材料の発酵を促進する「切り返し」の作業

団体設立経緯

2020年に、小田急線の地下化に伴う再開発エリア「**下北線路街**」がオープンしました。**シモキタ園藝部**は、そこに植えられた植物の維持管理を通して、緑の魅力を伝えるコミュニティとして立ち上がり、21年8月に一般社団法人に移行しました。22年4月から5月にかけて、下北沢駅近くに園藝部の様々な活動の拠点となる「こや」と、公共の緑地広場「シモキタのはら広場」がオープン。これまで取り組んできた活動に加え、「コンポスト事業」「飲食事業」「スクール事業」をスタートさせました。現在部員数は約150名となります。

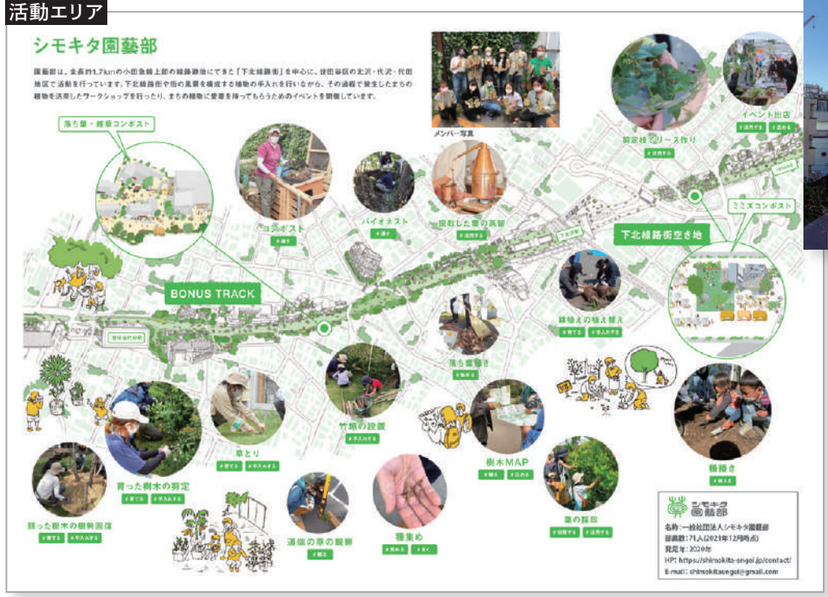
活動概要と活動対象範囲

小田急線の東北沢駅から世田谷代田駅の間の下北線路街の中の商業施設などの植栽を管理しています。月に1度、活動をオープンにして、まちの人たちと一緒に植栽を管理する**まちなか園藝教室**、植栽管理で発生した剪定枝や落ち葉などを活用した**リースづくりワークショップ**、線路街で出る剪定枝・雑草と、近隣のお店から出るコーヒーパルプ、果物の皮、そば殻を混ぜて堆肥化する過程を通して循環の仕組みを学ぶ**土をつくるワークショップ**などを開催しました。

活動に至った理由や背景

下北線路街をつくる再開発では、緑の少ない下北沢の街なかに緑地をつくってほしいと希望する地域コミュニティと、開発事業者及び行政との対話を通じて、多くの緑地が整備されました。整備された緑地を、その整備を希望した地域コミュニティが責任を持って活用して育てていきながら、まちの緑の魅力を多くの人に伝え、地域の内外に協働の輪を広げていく仕組みと活動の実現を目指しています。

活動エリア



シモキタ園藝部の活動エリアマップ（左）と、「シモキタのはら広場」の全景（上）。小田急線の地下化に伴い開発された地上の線路跡地を中心に、植物にまつわる活動を展開する

活動内容と成果

a.シモキタ園藝部とは

シモキタ園藝部は、東京都世田谷区内を走る小田急線の地下化によって空いた線路部分、東北沢から世田谷代田の地上部約1.7kmのうち7割に及ぶ植栽の管理を、小田急電鉄より委託されています。

メンバーは近隣の園芸好きだけでなく、プロの造園家、街づくりに興味のある人、イラストレーター、デザイナー、建築士、DIY好きなどなど、様々な人が関わっています。植物を「植える」「育てる」「活かす」「還す」を合言葉に、自主的に様々な活動をしています。

5月に下北沢駅近くで供用を開始した「シモキタのはら広場」という原っぱが活動の中心になりました。この広場では、近隣住民や子どもたちと一緒に種を蒔いて、昔の雑木林や原っぱのような場所をつくっています。これが「植える」「育てる」です。そこでできたハーブをお茶にして園藝部の拠点で飲むことができたり、シロザなどの雑草を調理して食べたり、どくだみ、ミントなどで蒸留して虫よけスプレーにするワークショップを開催しています。

線路街で出た剪定枝などは、集めてカントリーヘッジと言う垣根の材料にしたり、丸めてリースにしたり、3Dプリンターで接手をつくって花を置く台をつくったりしています。それが「活かす」です。

また、下北沢は古着の街です。洋服をリサイクルするように、ご自宅の育てられなくなった古い樹木を仕立て直して売ったり、広場で出た雑草をコンポストで堆肥にしたりしています。これが「還す」です。

b.コンポストについて

植物は捨てるところがない。いわば、すべてが宝物です。

コンポスト事業では、3月からコンポスト小屋「なや」の設計に取り掛かり、5月から7月にかけてDIYで作製しました。材料は買ったものもありますが、主には解体される店舗から使える宝物を救い出しました。

7月7日にコンポストに宝物を積み込みました。シモキタ園藝部で刈った雑草と、下北沢の駅前にあるコーヒー店から譲ってもらったコーヒー粕を混ぜて、水を100リットル入れました。3日後には発酵して温度が50度に上昇しました。温度が上がることにより分解が早まり、雑草の種も死滅し良い堆肥が生まれます。

事前に想定した雑草の量は1週間に1m^{3}でした。真夏には、増える！増える！ 恐ろしい量の雑草でコンポストが埋まって行きます。実際には真夏は1週間に4m^{3}の雑草が出ました。宝物を余さず活かすため

2022年8月の「園藝部DAY」では、東北沢駅前の広場を手入れした。草木の剪定に加え、オリジナルの樹種名板も設置

（上左）コンポスト小屋をみんなでDIY
（上右）屋外でガーデニング教室を開催
（下左）10月、堆肥工場の見学
（下右）5月開催のイベント「下北線路祭」では、コンポストの情報を盛り込んだ「ショールーム」を設置した

に急遽、もう一方の空いているコンポストに動く集草置（しゅうそうち）をつくり、そこに収蔵できるようにしました。試行錯誤の連続で、1週ごとに切り返し（雑草間に空気を入れるために、隣のコンポストに堆肥を入れ替える作業）を実施し、3カ月後の10月8日に第1クールの堆肥ができ上がりました。できた堆肥は、リンゴ箱6個、300リットル相当に入れて保管しました。循環園藝ラボ「大人の社会科見学」で訪問した堆肥工場を経営するサンシンの社長にできた堆肥を見せたところ、合格をいただき胸をなで下ろしました。

続く第2クールでは、街の宝物としてコーヒー粕に加えて、そば殻、おからを増やし、その総量は3000リットルとなりました。11月26日には切り返しとともに、DIYで出た木材を薪ストーブで燃やし、焼き芋を楽しみました。もちろんその灰は、カリウム分として土に還します。次回はサツマイモも園藝部で育てたいと思っています。

第2クールでは、第1クールの経験から2週に1回の切り返しをして、2023年1月22日に900リットル、リンゴ箱18個分の堆肥ができあがりました。

第2クール終了後、なやを改修しました。まず、リンゴの箱を重ねられるように補強して塗装。一部、黒板塗料を塗って、入っている物をチョークで書けるようにしました。切り返しが楽になるようにビニールパイプ3本に穴を開けて、空気を送り込めるようにしたものの、使おうとした空気入れの容量が小さすぎて失敗。身近にあったブロワーを使ったら見事に送れたので、ブロワーで送る事にしました。ゴムボートを膨らますポンプでも実験する予定です。並行して、小さな園藝部員の要望で鳥の巣箱を2箱つくりました。穴の径で来る鳥が違うそうです。シジュウカラが来る大きさでつくりました。

第3クールではさらにまちの宝物が増えて、コーヒー粕、そば殻、果物の皮を乾燥させたものを入れて、総量が2800リットルとなりました。2週に1回の切り返し作業の合間に、ブロワーでビニールパイプに空気を入れて様子を見ています。次の完成予定は4月22日です。

なやには、宝物が集まり出しています。柳の枝や雑草のチガヤ、灰、炭、割れた植木鉢、剪定した枝、リンゴの箱の中の堆肥、土壌改良で出た土などなど。なやを改良して、より収容できるようにする必要があります。

ハウジングアンドコミュニティ財団の助成金を得たことによって実現したコンポストが、シモキタ園藝部の循環の起点として認知されはじめました。それは多くの宝物を呼び集め、そして集まった宝物は植育の材料として再生されて、線路街に還っていくことになります。とても楽しみでワクワクします。

c.協力団体

シモキタリング（旧北沢PR戦略会議）、NPO法人アーバンファーマーズクラブ、CATs Street Farming、Belleville Brulerie TOKYO、打心蕎庵、株式会社東果堂、暮らしmarche、un petit peu、いちりんご世田谷店

d.イベントカレンダー

2022年4月30日　まちなか園藝教室「**ありあわせのものでガーデンエッジを作ろう**」対象：親子、成人

枯れ枝でクリスマスリースをつくったり（左）、薪ストーブで焼き芋をつくったり（右）と、楽しみながら日々の暮らしの中で、植物を余すことなく徹底的に活用する知恵を広げる

4月～　エコガーデナー養成講座（全9回）「**線路街のみどりの守り人を養成する**」対象：親子、成人

5月28日　みちくさファーマシー「**初夏のハーブ観察とカモミールの蒸留水づくり**」対象：成人

5月28日、29日　下北線路祭にて、東京初となる**コンポストショールーム**を実施しました。対象：コンポストに興味がある人

6月12日　サンデー園藝部「**みちくさに詳しくなる草とり**」対象：親子、成人

6月25日　まちなか園藝教室「**雑草で押し花を作ってみよう**」対象：親子、成人

7月30日　まちなか園藝教室「**コンポストの切り返しにチャレンジ**」対象：親子、成人

8月2日　みちくさファーマシー「**エアーフレッシュナーにもなる虫除けスプレーづくり**」対象：親子、成人

8月27日　まちなか園藝教室「**夏から秋へのガーデニング体験**」対象：親子、成人

10月22日　循環園藝ラボ 大人の社会科見学「**コンポストの基本、堆肥工場の見学、コミュニティファームを見学し、のはらの運営に役立てる**」対象：園藝部員、アーバンファーマーズクラブ部長

10月29日　まちなか園藝教室「**BONUS TRACKの植栽案内**」対象：親子、成人

11月12日　街かどガーデニング教室「**プロのガーデナーに教わりながら、街のみどりをお手入れしよう**」対象：親子、成人

12月4日　「**まちの緑でクリスマスリースづくり**」対象：親子、成人

12月10日　街かどガーデニング教室「**庭の冬支度と春への仕込み**」対象：親子、成人

12月25日　「**注連縄（しめなわ）づくりワークショップ**」対象：親子、成人

23年1月28日　まちなか園藝教室「**木のことを知ろう！ 体験しよう！**」対象：親子、成人

2月5日　街かどガーデニング教室「**スプリングカットバック**」対象：親子、成人

2月25日　まちなか園藝教室「**古樹のメンテナンス＆シルクスクリーンワークショップ**」対象：親子、成人

課題と解決方策

コンポスト堆肥の原料となる雑草や集まってくるまちの宝物、できた堆肥について、スペースがあれば楽々収納できますが、東京都内の駅近くで大きな面積を確保するのは現実的ではありません。だからこそ、皆で知恵を出しながら解決する楽しさ、面白さがあります。この1年も増え続ける宝物との戦いでした。色々なアイデアで解決しています。

今後も楽しんで、チーム全員でアイデアを出しながら解決していきたいと思います。助成金が終了後、堆肥の切り返しなどの費用をどう賄うかがとても重要な課題です。できた堆肥を上手く園藝部内外で使ってもらい、それを財源として持続可能な活動にしていけると考えています。

今後の予定

雑草がどんな微生物によって分解しているのかを観察するワークショップの実施や、外部講師による堆肥の利用法講座など、つくり方のレベルアップを図ります。

また、家庭から出る宝物の生ゴミを減らす為に、リンゴ箱で「キエーロ」と言うコンポストをつくって、年間100個を目標に販売したいと思っています。目標を達成できれば、年間10トンの生ゴミの削減が見込めます。

一般社団法人シモキタ園藝部

2020年3月設立、21年8月法人化／メンバー数：150人／代表者：三島 由樹（みしま・よしき）、柏 雅弘（かしわ・まさひろ）、関橋 知己（せきはし・ともみ）
●〒155-0031　世田谷区北沢2-21-12 NANSEI-PLUS南棟 こや
☎03-6805-5887　✉info@shimokita-engei.jp
shimokita-engei.jp/
facebook.com/profile.php？id=100083420195289

みどりと人、人と人とが関わり合う風景と文化をつくるために、まちの緑を守り育て、手入れで切った緑や雑草も土に還す、循環型の園芸を推進しています。